

平成30年度事業計画

一般財団法人日本ボクシングコミッション

JBCは、平成25年7月1日の一般財団移行後、従前の業務を見直し適正化を図る観点から、業務管理においては就業規則の改正を含め各種規定を改正・新設し、試合運営管理においては公平で適切な管理を目指し、また選手の健康管理を徹底する等、各業務の適正化を推進してきました。また平成28年1月1日よりJBC公式試合ルールも改正し、選手の健康管理・安全管理の意識を高めるとともに各種ライセンス取得者の役割をより明確にしました。平成29年8月からはWBOアジア&パシフィックタイトルを承認、平成29年10月1日からは日本女子タイトルも承認するなど、さらに改正を進めてきました。平成30年度は、この流れに沿うとともに、時代の流れに沿った改革などを推し進めて行くとともに以下のことを事業計画として行います。

1 ボクシング年間優秀選手表彰式の開催

- (1) 平成30年2月9日（金）東京ドームホテルにて開催を予定している。
- (2) プロボクサーおよびボクシング関係功労者の表彰をする。

2 業務管理

- (1) 経費の節減を図る。
- (2) 業務管理の適正化をさらに推進する。

3 試合運営管理

- (1) プロモーター、オーナー、マネージャー、プロボクサー、トレーナー、セコンド、試合役員等ボクシング関係者に対する資格審査ならびにライセンスの発行業務を行う。
- (2) プロボクシング試合開催に対する承認および試合の運営管理を行う。
- (3) 日本ランキングを決定し（ランキング委員会）、発表する。
- (4) 試合役員研修会（月例）の協力をする。
審判技術の向上、安全対策その他試合全般に対しての研修を行う。特に地区試合役員会との交流を通じて技術研修の強化を図る。
構成：審判、進行、アナウンサー、タイムキーパー、ドクター他役員
- (5) 審判員の技術向上並びに新人応募審判員対し、技術習得のサポートをしていく。

4 選手の健康管理及び安全防護

- (1) リング事故防止のための安全対策、並びに諸規則の衆知徹底を図る。
 - ①出場選手の健康管理について、指導強化の継続と、一元管理化を推進していく。
 - ②ヘッドバッティングなど対戦者に深刻なダメージを与える重大反則には厳しく対処する。そのために審判員を始め関係者に対する指導を徹底する。
 - ③早期のレフェリーストップによって頭部外傷等のリング事故防止に努める。
 - ④体重制スポーツの根幹であるボクシング試合における、計量時のオーバーウェイト選手が散見されるので、その防止対策を関係者と共に協議していく。
- (2) 試合でダメージを受けたボクサーに対して頭部CT（又は頭部MRI）を含む精密検査の実施により、二次的なダメージの防止に努める。また、昨年コミッショ

ンドクターと試合をするプロボクサーとしての健康管理基準を明確にするため整備された医事運営規則を厳守し、事故の事前防止を強化していく。

(3) 健康管理への促進

安全に関する国内外の情報、資料の収集をはじめ、他スポーツ団体の取組等を研究し、日本プロボクシング界の健康管理の参考とする。

(4) 安全防護・健康管理に対して日本プロボクシング協会（JPBA）との共催で合同医事講習会を開催し、プロボクシング関係者の健康管理にする意識、知識を高め、事故防止、安全防護の徹底を図る。次年度は継続的に各地区でも医事講習会を開催したい（今年度は東京地区のほか、中部地区、関西地区でも実施）。

(5) 各地区のコミッションドクターによる情報交換、情報共有を図る。

(6) 網膜剥離や網膜裂孔を患ったボクサーについて

網膜剥離や網膜裂孔により現役引退を余儀なくされたボクサーの復帰について、JBC指定の大学病院にて検診を受け、何人かのボクサーが復帰を果たした。今後も復帰した選手の動向を追いながら、改めて検証を行っていきたい。

6 暴排の徹底

(1) ライセンス発行時において、暴排確約書提出の義務化を徹底する。

(2) 関係諸機関の協力により、暴排についての連携を深めていく。

(3) JPBAに対して協力と周知徹底を指導する。

7 国際交流の推進

(1) WBA（世界ボクシング協会）第96回年次総会開催予定。

(2) WBC（世界ボクシング評議会）第56回年次総会開催予定。

(3) IBF（国際ボクシング連盟）第35回年次総会開催予定。

(4) WBO（世界ボクシング機構）第31回年次総会開催予定。

(5) OPBF（東洋太平洋ボクシング連盟）第57回年次総会開催予定。

(6) 前記の世界タイトル認定団体ならびに加盟諸国との連携を密にし、相互の友好促進情報の共有をはかって行く。変わりゆく世界のプロボクシングに対し情報を収集し、対応を図って行く。

8 情報の発信

ホームページの活用、機関誌（ボクシング広報）の発行（月刊）、ボクシング年鑑発行をし、プロボクシングに対する認知、理解を進めて行く。またWOWOW主催のボクシング検定にも協力し、ファン開拓にも積極的に関わっていく。

9 その他

ボクシングを通して青少年の健全な育成に資するために協力していく。また、法務省の推進する「社会を明るくする運動」に引き続き協力するなど、社会貢献に有意義な行事事業に積極的に参加・協力をして行く。